

(株)ほっといん鳥海の運営状況をお知らせします。  
 【主な指定管理施設:鳥海伏見生産物直売所ほか4施設】

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数(人) (A)	146,148	143,416	126,068	126,767	123,566
従業員数(人) (B)	23	21	20	22	21
年間売上高 (C)	49,085,931	48,438,059	40,503,348	41,881,044	43,905,738
売上総利益 (D)	33,284,982	33,585,355	28,891,966	30,789,340	32,378,393
販売費一般管理費 (E)	45,676,131	45,435,941	45,640,316	45,213,142	47,814,230
営業利益 (F)	▲ 12,391,149	▲ 11,850,586	▲ 16,748,350	▲ 14,423,802	▲ 15,435,837
市からの補助金額 (G)	2,970,000	0	2,500,000	1,400,000	771,000
市からの指定管理料 (H)	6,018,557	5,867,698	5,911,623	6,192,659	6,146,031
純利益(純損失) (I)	525,655	161,926	1,008,005	221,263	▲ 1,087,957
資産額 (J)	48,829,230	48,404,566	49,664,347	49,701,287	49,760,303
負債額 (K)	9,063,184	8,476,594	8,728,370	8,544,047	9,875,020
純資産額 (L)	39,766,046	39,927,972	40,935,977	41,157,240	39,885,283
資本金 (M)	30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者1人当たり売上 C/A	336	338	321	330	355
従業員1人当たり売上 C/B	2,134,171	2,306,574	2,025,167	1,903,684	2,090,749
利用者1人当たり営業利益 F/A	▲ 85	▲ 83	▲ 133	▲ 114	▲ 125
従業員1人当たり営業利益 F/B	▲ 538,746	▲ 564,314	▲ 837,418	▲ 655,627	▲ 735,040
利用者1人当たり補助金 G/A	20	0	20	11	6
利用者1人当たり指定管理料 H/A	41	41	47	49	50
利用者1人当たり負債額 K/A	62	59	69	67	80
粗利率 D/C	67.8%	69.3%	71.3%	73.5%	73.7%
販管費率 E/C	93.1%	93.8%	112.7%	108.0%	108.9%
自己資本比率 L/J	81.4%	82.5%	82.4%	82.8%	80.2%
負債比率 K/L	22.8%	21.2%	21.3%	20.8%	24.8%
資本剰余額(欠損額) L-M	9,766,046	9,927,972	10,935,977	11,157,240	9,885,283

【用語解説】

粗利率(売上総利益÷売上高)	売上高から原価を差し引いた粗利益を比率にしたものを示した指標。売上高に対する売上総利益の比率を表す。企業の大まかな利益率を把握するための、基本的な指標。
販管費率(販売管理費÷売上高)	売上高に対する販管費(販売費、一般管理費)の比率を示す指標。売上に対して過剰に経費が掛かっているかなどを確認する際に使用する。この比率が低いほど効率的な経営を行っているといえる。
自己資本比率(自己資本÷総資産)	総資産に対する自己資本の比率を表す指標。自己資本は、株主からの出資や会社の利益からなるもので、自己資本比率が高ければそれだけ借入金が多くなく、健全な経営を行っているといえる。一般的に50%以上が望ましい。
負債比率(負債÷自己資本)	自己資本に対して負債がどの程度あるかを表す指標。財務的な安全性を測る指標として用いられており、一般的には負債比率が低いほど財務的な安全性が高い。負債比率が100%以下であれば自己資本で全ての負債を返済できるので問題はない。
資本剰余額(欠損額)	純資産額(資本総額から負債総額を引いた額)から資本金額を差し引いた額。